

役場のお仕事、体験しました

御荘中学校は6月24日(月)~28日(金)までの5日間、城辺中学校は7月1日(月)~5日(金)までの5日間、町内の各事業所で3年生が職場体験を行いました。愛南町役場では、御荘中学校と城辺中学校の3人が業務を体験しました。体験内容原稿は、広報原稿作成業務を体験した城辺中学校の2人によるものです。

職場体験の様子

「文書仕分け」

役場に届いた大量の郵便物の仕分けをしました。どの課宛か判別が難しい郵便物もありましたが、担当の職員さんが優しく教えてくださったので、仕事をすることができました。



「広報取材（交通安全教室）」

愛南警察署で行われた、南宇和高校バイク通学生の交通安全教室取材しました。白バイの方が、バイク通学生徒に整備の仕方、運転の心得を口頭で教えたり、コーンなどを使って、実際の走行訓練等を指導したりしていました。外は暑く、写真を撮るのも一苦勞でしたが、とてもいい経験になりました。

「認知症カフェ」

高齢者の方とビンゴゲームをしたり、歌を歌ったりしました。ビンゴゲームはあがった人からお花をもらえるというシステムで、皆さんがとても楽しそうに活動していて、私も一緒に楽しむことができました。たくさんの方が昔の愛南町のお話や私の所属している部活について「昔はこんな感じだったよ」と教えてくださいました。また、歌を歌う時には私たち中学生が知っている曲を歌おうと「この曲は知っている？」と何回も聞いてくださるなど、楽しく交流することができました。最後、カフェが終わって帰るときには「また来てね」と言ってくださり、本当にうれしかったです。また行きたいです。



「広報取材（私と民謡）」

民謡の先生にお話を伺ったり、生徒さんの歌を聴かせていただいたりしました。日本古来の楽器は「難しい。堅苦しい」と思っていたのですが、お話を聞いたり実際に三味線や尺八の体験をしたりしてみると、とても楽しく、親しみやすいものだということがわかりました。特に尺八の音が全く出なくて苦勞しましたが、貴重な体験ができてうれしかったです。



愛媛
CATV
動画

6/8 ライオンズ奉仕デーに85人が参加 「ごみゼロの日」に片の浜清掃活動を実施



▲流れ着いたごみの種類を確認しながら参加者全員が協力して清掃を実施した

6月8日(土)、南宇和ライオンズクラブが「ライオンズ奉仕デー」を実施し、18団体85人が参加して、御荘湾片の浜周辺の清掃活動を行いました。

この取り組みは地域の美しい環境と御荘湾に生息する希少種生物(ドロアワモチなど)を守ることを目的に実施しており、参加者は雨風に負けず、養殖いかだのブイや流木のほか、空き缶やペットボトルなど流れ着いていたさまざまなごみを拾い集めました。

友人たちと参加していた御荘中学校の生徒は「人間が出したごみが多いと感じました。今回のようにみんなで協力して、自分たちの力で海岸がきれいになっていくことがとても嬉しいと感じた」と話し、懸命に海ごみを拾い続けました。

6/9 うわじま圏域子ども観光大使が愛南に触れる 宇和島圏域の子どもたちが、自らさばいてカツオわら焼き体験



愛媛
CATV
動画



▲山口鮮魚の山口誠さんにさばき方を教わり、力を込めて立派なカツオに包丁を入れる子どもたち

宇和島圏域(宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町)の魅力を発見し、地域を誇りに思う子どもたちを育てる「うわじま圏域子ども観光大使」の講座の一環として、うみらしく愛南でカツオのわら焼き体験が行われました。

会場となった体育館では、実際の竿を使ってカツオのぬいぐるみを釣る一本釣り体験や、特産品の愛南ゴールド(品種名:河内晩柑)の搾汁体験も併せて実施され、子どもたちは自分で選んだ愛南ゴールドが目の前でジュースになっていく様子を興味津々で見つめていました。

カツオのたたき、愛南ゴールドジュースどちらもおかわりの列に並ぶ子もいて、イベントをお腹いっぱいになるまで楽しみました。

6/14 投票することの大切さ、重みを感じて 南宇和高校主権者教育講座で2年生が模擬選挙を体験



▲最初の選挙人となった生徒が空の投票箱を確認した後、ほかの生徒たちも順次投票を行った

主権者教育講座として南宇和高校の体育館に「南宇和高等学校投票区」の投票所が開設され「南宇和高等学校模擬選挙」の投票が行われました。

この講座は、社会に主体的に参加する意識を高めることを目的として、2年生を対象に実施されており、今回の模擬選挙では、南宇和高校の新たなリーダーを決めるべく立候補者による立会演説後、実際の投票箱や記載台などを用い、選挙管理委員会事務局からの説明を交えながら投票を行いました。

最初に投票した生徒は「緊張しましたが、いい経験をすることができました。選挙は自分の意見を伝えるチャンスであり、大切にしたい」と話しました。

6/20 消防救助活動の技術向上を目指して 「第52回消防救助技術四国地区指導会」署内選考会



愛媛
CATV
動画



▲訓練の成果を発揮するべく全力の泳ぎを見せた

御荘B&G海洋センターで署内選考会(水上の部)が行われ、竹川翔汰しょうた隊員と清水康平こうへい隊員が参加しました。

選考が行われた種目は「複合検索」といい、水中で行方不明者の搜索をする想定の訓練です。シュノーケリングで障がい物(救命浮き輪)を突破しながら水中に沈められた4つのリングを探し陸に引き揚げるといった内容で、標準所要時間は40秒で設定されているところ、出場した2人の隊員はともに30秒を切るタイムを記録しハイレベルな戦いを見せました。

署内選考を勝ち抜いた竹川隊員は「訓練してきた成果を十分に発揮できたと思います。四国大会で良い結果を出せるよう引き続き訓練に臨みたい」と力強く述べ、7月26日(金)に徳島市で開催された四国大会において、見事3位入賞を果たしました。

6/21 長年にわたる子どもたちの見守り活動に感謝 田中秀典ひでのりさん(広見)が少年警察協助力功労者として表彰されました



▲表彰状を手に笑顔を見せる田中秀典さん

6月21日(金)、少年の非行防止と健全な育成を図ることを目的として、地域一体となって取り組む「少年警察協助力功労者」に愛媛県から委嘱されている田中秀典ひでのりさんがその業績を認められ、愛媛県少年警察ボランティア協会から表彰されました。

10年前から少年警察協助力功労者として青色回転灯を車に付けて専用のベストを着用し、通学路で登校する子どもたちを見守る活動していますが、実際に通学路に立ち始めたのは、さらに10年前からということで、通算20年を超えます。

田中さんは「自分の子も成人し、10年の区切りでやめようかと思いましたが、やんちゃだった子が成長していく様子を見たり、社会人になった子たちと偶然会って話したりすることもあり、元気なうちは続けたいと思っている」と話しました。

7/2 安全安心な通学をするために バイク通学をする南高生を対象に安全運転講習を実施



愛媛
CATV
動画



▲走行訓練では駐車場内に設置されたコースで正しい乗車姿勢や安全なブレーキの方法を再確認した

南宇和高校では令和5年度からバイク通学が許可されており、現在4人の生徒がバイク通学しています。この日の講習では、事故なく安全安心にバイクを使用するために愛南警察署員が指導を行い、特に日常点検の大切さや走行する路面状況を把握することの重要性を改めて学びました。

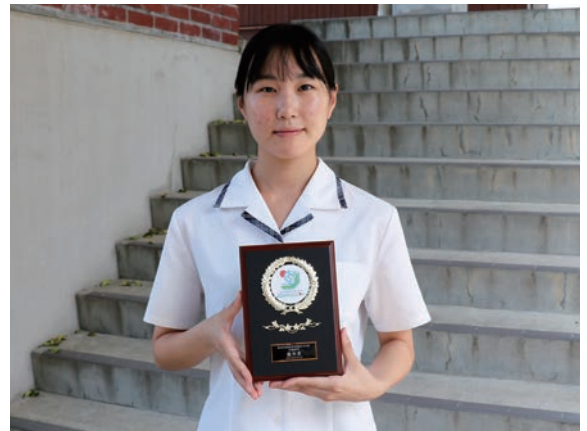
愛南警察署交通課の河野敦紀あつり課長は「今日の講習会を通してバイク通学をする高校生に安全運転への意識を高めてもらうことができました。町民の皆さまも高校生のお手本となるような安全運転を心がけていただき、事故のない愛南町を一緒に目指していきましょう」と話し講習会を終えました。

南宇和高校 杉本^{りんか}琳香さん 第48回全国高等学校総合文化祭弁論部門優秀賞を受賞

7月31日(水)に岐阜県で行われた『第48回全国高等学校総合文化祭(弁論部門)』に南宇和高校3年の杉本^{りんか}琳香さんが出場し、見事優秀賞に輝きました。

杉本さんが発表した弁論のタイトルは『世界で一番愛してる』。この言葉はお母さんから贈られた言葉で、毎年、杉本さんには、天国にいるお母さんから愛情のこもったバースデーカードが届きます。「亡くなった後も母は、バースデーカードを残し、温かい言葉を送り続けてくれます。その経験を通し、身近な人に愛情を伝えることの大切さを知ってほしい」と話す杉本さん。大会では、「言葉には人を動かす力や元気にさせる力があります。だから温かい言葉をお互い掛け合うべき」と伝えました。

大会を終えた杉本さんは、「肩の力を抜いて発表し、練習の成果を発揮できました。また、他の弁士の皆さんの弁論を聞くことで、視野も広がりとてもよい経験になった」と笑顔で感想を話しました。



▲凛とした表情で盾を持つ杉本琳香さん

御荘中学校相撲部 吉田^{りゅうせい}琉聖さん 陸上競技部 和田^{ゆりあ}結倫愛さん ともに全国の舞台へ



酷暑に負けず日々の練習に励んでいる相撲部の吉田^{りゅうせい}琉聖さんと陸上競技部の和田^{ゆりあ}結倫愛さん。それぞれ県大会等で優秀な成績を収め、吉田さんは8月11日(日)に両国国技館で開催された『第35回全国都道府県中学生相撲選手権大会』に軽量級で出場し、和田さんは8月17日(土)から福井県で開催された『全国中学校体育大会(第51回全日本中学校陸上競技選手大会)』に女子共通800メートル種目で出場しました。



▲左から和田結倫愛さん、吉田琉聖さん

全国の舞台を前に緊張した面持ちの吉田さんと和田さん。県大会での取組に手応えを感じたと話す吉田さんは、「自分は初めての全国大会になるので、今まで以上に集中して稽古に励み、上位入賞を目指して全力の取組をしたい」と力強く話しました。2年連続で全国大会への出場となる和田さんは、「全国から集まった強豪選手に全力で立ち向かい、自己ベストの更新を目指して全力を出し切りたい。家族をはじめ、これまで支えてくれた全ての方々への感謝の気持ちを忘れずレースに臨みたい」と笑顔で抱負を述べました。

投稿写真

読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載します。

「ハロウィンみたいなスイカになりました」

▶撮影者:矢ノ町2でもハクビシンです ▶撮影場所:矢の町

家庭菜園でスイカをつくり、9個が実をつけ大きくなりましたがハクビシンに3個食べられ、3個が梅雨の長雨のあと割れてしまいました。

なんとなく不気味な顔ですが食べたら美味しかったです。

写真募集中!

掲載方法は町ホームページからご確認ください。



早見和真氏 観光親善大使就任



愛媛
CATV
動画

8月8日(木)、愛南町観光親善大使に就任した小説家の早見和真さんが愛南町を訪問しました。

早見さんは、愛媛新聞で連載中の『かなしきデブ猫ちゃん』シリーズのほか、多数の著書があり、テレビドラマの『笑うマトリョーシカ』の原作者でもあります。日本中を旅する早見さんは、愛南町の外泊地区を訪れた際、石垣の里集落の景色に衝撃を受けたと話し、ドラマの重要な場面にも愛南町が登場します。

観光親善大使就任にあたり、「町民の皆さんは気づいてないかもしれませんが、愛南町にはここにしかない景色や特産品の魅力がたくさんあります。愛南町をPRできるようがんばりたい」と話しました。木原荘二副町長は「これからも愛南町の良いところをさまざまな形で語り継いでいってほしい」と期待の言葉とともに委嘱状を手渡しました。

また、来年1月26日(日)には、御荘文化センターで早見さんの講演会が開催される予定です。



地域おこし協力隊 活動日記

光陰矢の如し

皆さんこんにちは!御荘B&G海洋センターを拠点に各種スポーツ指導を担当している池田昂輝です。今年の4月に着任し、はや5カ月が過ぎました。生まれ育った愛南町、そして私を育ててくれたと言っても過言ではない御荘B&G海洋センターでの活動は責任重大ですが、これまでの経験を発揮する場として、とても新鮮でやりがいを感じています。

着任して気づいたのが、県内で活躍している地域おこし協力隊の中で、スポーツ指導員として着任している隊員の方があまりいないことです。着任時は、不安になることもありましたが、職員の方に支えられ、今ではスポーツ指導員としての地位を確立するため、日々奮闘中です。

今年度は、水泳教室運営に重点を置き、個々の泳力や集団指導における安全対策などを



コーチ陣と情報共有し、よりよい指導方法の工夫・改善に取り組んでいます。水泳教室は幼児から一般までのコースがあり、随時、会員募集中ですので、「泳ぐ」だけでなく、水の特性「水圧」「浮力」「抵抗」「水温」を生かした高い運動効果を体験してみたいはかがですか。

これからも、幅広い年齢層の方と交流し、スポーツを通じた地域活性化に繋がる活動を展開していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。